

## 学校経営目標

夢や目標をもち、ともに高め合う 子どもの育成

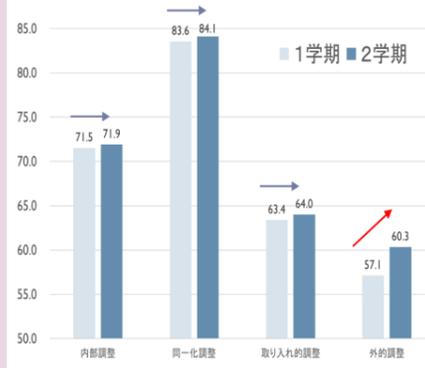
## 研究主題

対話を通して、自らの考えが変容したことを自覚できる授業の創造

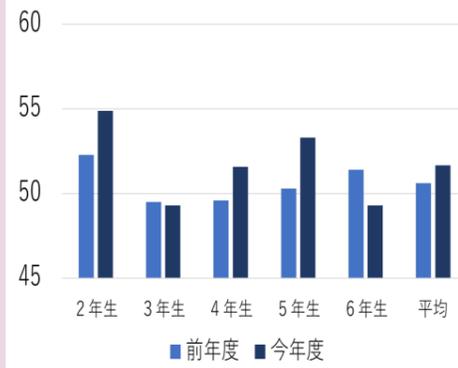
### 夢や目標をもつ

学校教育目標を構成する「夢や目標をもつ」という内容に関しては、「自律的な学習動機づけ尺度」の「内的調整」と「同一化調整」の2つの要素の高まりをもって、状況を把握している。特に「同一化調整」は自らの将来の夢や願いをもつことに大きく関係する内容であり、今後もキャリア教育の内容の検討、具体的な実践の開発が欠かせないと考える。

### 自律的学習動機づけ尺度



### 標準学力調査(国語) R4-R5比較

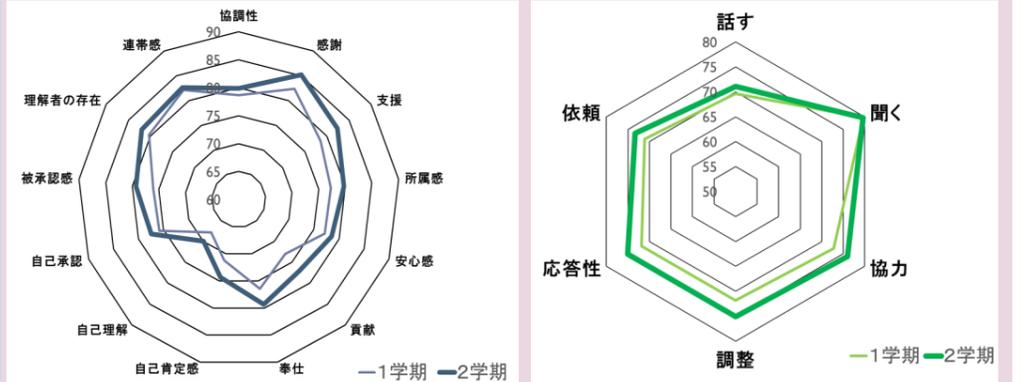


### ともに高め合う

6月以降、各学年で導入してきた「クラス会議」の運営、「チーム」を主体とした学級経営の在り方、2学期以降に全校で導入した「異学年交流(ハッピーフレンズ活動)」の成果が数値からも見られる。他者の存在を認め、関わり、感謝し、支援し、貢献するという児童自らが起こせるアクションの具体的な内容を今後も検討させることが重要である。

また、「対話」を基調とした教育研究の実施も、児童の他者意識、コミュニケーション能力の数値の向上へも寄与していると考えられる。

### 「共同体感覚」測定尺度 コミュニケーション能力測定尺度



## キャリア教育

【各学年】  
・進級時の目標づくり  
・学期ごとの目標と振り返り  
・キャリアログの活用

【特徴的な取組】  
・自分の成長の振り返り(2年)  
・なりたい自分のイメージ化(4年)  
・社会で働いている方々との交流(5年)  
・将来の夢を描く(6年)

## 教科指導

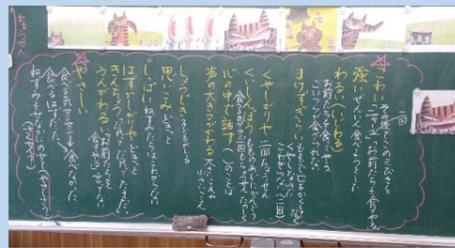
### 外国語活動 外国語科

「外国語活動、外国語科」の教育研究を継続し、教科化に向けた実践研究を積み上げてきている。その歴史を踏まえ、年度当初に日比崎小学校における外国語科、外国語活動のモデル授業を共有し、授業で大事にすべき点を職員が理解して、授業実践を行う。また、各学年の「ゴール設定」(実際の交流の機会等)を定め、学習に対する児童の動機付けを図る。



### 国語科(主として物語)

昨年度から「対話」の質の向上を図るため、国語科の物語文を通して深い学びを実現する教育研究を展開している。手法としては、筑波大学附属小学校教諭 青木伸生先生が提唱されている「フレームリーディング」の手法を用いて、単元を構成し、授業実践を重ねる。



## 学級経営

### (1) クラス会議による自治的集団の育成(上越教育大学 赤坂真二教授)

6月以降、発達段階に応じて、「クラス会議」を導入し、実践を重ねている。それぞれの学級に内在する「課題」や児童一人一人の「個人的な悩み」に着目し、それを議題として取り上げ、進行プログラムに沿って、解決策やアドバイスを導く活動を展開している。この取組は、学級経営の土台として機能し、一人一人が所属のメンバーとしての居場所を自覚させることに機能している。また、共感し、支援する、そして、仲間のために貢献する意識を高めることにも有効に機能している。



### (2) 学級力向上プログラム(早稲田大学 田中博之教授) ※5,6年

学級力向上プログラムは、昨年度5、6年生を中心にクラス会議とともに導入している。「学級力」を測定するアンケートに基づき、自分達の学級の長所、短所を視覚化し、その改善方法を協議し、アクションを起こすことを目的としている。



### (3) 学級経営の「基礎 基本」、話し方・聞き方向上プロジェクト、チーム意識の醸成

学級開きから3日間、1週間、1ヶ月を起点とし、学級の土台を確立するための手法を共有する。学びを深めるためには、教室における「対話」が重要である。そのため、「対話」が成立するための「聞き方、話し方」はどうあるべきかについて、各学級で議論し、ルールを決める。また、他学年の学習における振る舞い方を児童が直接参観し、学ぶ機会をできるだけ多く設定する。「学び合う教室」を作るために、学級内に「4人のチーム」を組織し、仲間としての関わり合い、振る舞い方の基礎基本を習得させる。



## 異学年交流

縦割り班活動(ハッピーフレンズ活動)を昨年度から導入した。各班12名程度で構成され、34チームで構成する予定である。異学年交流は、教室で培ったコミュニケーション能力を活用、応用させる場として位置づけるとともに、高学年はリーダーシップの発揮、中学年はフォロワーシップ、低学年は先輩に対する憧れ感を創出させることもねらっている。他者への思いやり、気遣いを発揮する機会でもあり、高学年は自己肯定感を得る機会にする。

【具体的取組】  
掃除・ひびっこフェスティバル  
縦割り班遊び・6送会



## 教職員集団の醸成

- (ア) ビジョンの理解とその実現に向けた具体策の実践,
- (イ) 教職員集団の関係性(同僚・協働性, 自主・行動性),
- (ウ) 組織の連動性(学校経営会議と学年主任会, 個人)
- (エ) 主任(ミドルリーダー)の指導性の発揮,
- (オ) 学級担任から「学年チーム担任制」への移行,
- (カ) 教育研究による学校の一体感,
- (キ) カリキュラムのC-PDCA